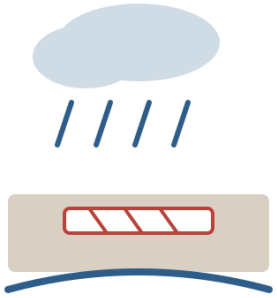
ニュース（報道）とSNSの情報のちがい

同じできごとの情報でも、ニュースとSNSでは、何がちがうのだろう

できごと（架空）



大雨で、川の近くの道が通れなくなった

ニュース（新聞・テレビ・ニュースのサイトなど）

1. **取材する** — 記者が、その場で話を聞く・見る
2. **確かめる** — ほかの人や資料でも確かめる
3. **編集する** — 何を伝えるかを選んでまとめる
4. **発信する** — 出したのはだれかがはっきりしている

◎ 時間はかかるが、確かめてから出す
△ まちがえたときは、直したことを知らせる

SNS（だれでも書きこめる場所）

1. **だれでも書く** — 見た人・聞いた人・うわさを聞いた人
2. **すぐに出す** — 確かめないまま出すこともある
3. **共有で広がる** — 「いいね」や共有でどんどん広がる
4. **見る人ごとにちがう** — 見せられる書きこみが、人によってちがう

◎ 早くて、いろいろな人の声がわかる
△ まちがいや、うそもまざりやすい

受け取るときに

- ✔ だれが出した情報かを見る
- ✔ 確かめられた情報かを考える
- ✔ ほかの情報ともくらべる

どちらにも、よいところと気をつけるところがある。メディアの特ちょうを知って、上手につきあおう。

SNSにも、市や新聞社などが出す情報がある。ニュースもまちがえることがある。

※ 模式図。できごとは架空の例。発信のしかたは、会社やサービスによってちがう。